

・今月のピックアップ・

『白鷺立つ』

天明飢饉の傷痕いまだ癒えぬ比叡山延暦寺に、失敗すれば死といわれる(千日回峰行)を成し遂げようとする二人の仏僧がいた。

歴史に名を残すための闘いは、やがて業火となり叡山を飲み込んでいく。

第32回松本清張賞受賞作 異形の歴史小説。

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ「多図書室」

「罪と罪」

「エピクロスの処方箋」

「よくつまづく」「よろけやすい」

人のお助けBOOK

堂場
瞬一
著

夏川
草介
著

「春の星を一緒に」

藤岡
陽子
著

「梧桐に眠る」

澤田
瞳子
著

「10代のからだといひの」

田上
幸治
編著

「不安解消BOOK」

「介護未満の父に起きたこと」

ジエーン・スー
著

「ともだちってどんなもの?」

ほそかわ
てんてん
やく

「おたすけこびととやんちゃなこいぬ」

なかがわ
ちひろ
文

「それ犯罪かもしれない図鑑」

小島
洋祐
監修

「スマホ時代の『眼』メンテナンス」

栗原
大智
著

「小泉八雲と怪奇バスターーズ」

古賀
昭義
著

「日本語の数えかた図鑑」

青木
伸生
監修

「世界の納豆をめぐる探検」

高野
秀行
文・写真

横田マリヤ「ティセンター図書室」

「春の星を一緒に」

藤岡
陽子
著

「梧桐に眠る」

澤田
瞳子
著

「10代のからだといひの」

田上
幸治
編著

「不安解消BOOK」

「介護未満の父に起きたこと」

ジエーン・スー
著

「ともだちってどんなもの?」

ほそかわ
てんてん
やく

「おたすけこびととやんちゃなこいぬ」

なかがわ
ちひろ
文

「それ犯罪かもしれない図鑑」

小島
洋祐
監修

1月の休室日

月曜日、祝日、月末休室(30日)
年始休室(1日～4日)、
蔵書点検休室(13日～16日)

1月の休室日

日曜日、祝日、
年始休室(1日～4日)、
蔵書点検休室(19日～23日)

出雲國たら風土記
～鉄づくり千年が生んだ物語～

日本遺産とは平成27年から始まった日本各地の文化や風習、文化財などを「ストーリー」として文化庁が認定したものです。認定された「出雲國たら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」を語る上で欠かせない文化財として、今回は【出雲神楽】を紹介します。

雲南市には、出雲神話と深いつながりのある場所がたくさんあります。この出雲神話を演目とした神楽は今も地域に受け継がれています。

有名なヤマノオロチ伝説は、オロチを氾濫する川に見立て、退治したオロチから取り出された剣を鍛(は)がねに、さらに一度オロチに飲み込まれながらも助けられたイナタヒメ(奇稻田姫)を、川の氾濫によって豊かな土地となる稲田に重ね合わせるなど、たら風土記との深いつながりとともに語り継がれてきました。このことから、はるか昔から、たら風土記がこの地域の生活や文化に大きな影響を与えていたことがわかります。

令和8年1月25日(日)には、雲南市木次経済文化会館チエリヴァホールにて、「雲南神楽フェスティバル」が開催されます。ぜひ、お出かけください。




移住定住支援サイト
おくいずも暮らしメモ

なんだが、幸せ。